特集

トップインタビュー

# みんなでつくろう あふれるまち 夢・希望・感動 みなみたね

TOP Interview

南種子町長 小園 裕康

**今回は南種子町の小園裕康町長に、健康に暮らせるまちづくりへのビジョンやご自身の健康法等について、お話を伺った。**

## 健やかに生き生きと暮らせるまちづくり

**―南種子町における健康に暮らせるまちづくりへのビジョンについてお聞かせください**

本町は、第6次南種子町長期振興計画において、「みんなでつくろう夢・希望・感動あふれるまち　みなみたね」を将来像に掲げ、「互いに支え合い、安心・安全な暮らしの充実」、「培った地域の活力から、更なる魅力の創造」、「人と地域が活躍する、共生・協働のまちづくり」、「効果的・効率的な行財政運営の推進」という4つを基本理念として町づくりを推進しています。

本町は、鉄砲伝来の地や広田遺跡など豊かな自然と輝かしい歴史、そして大型ロケット発射場を有する最先端科学が共存する魅力あふれる町として、恵まれた環境を生かしながら、各産業の振興、生活環境の整備、福祉や教育の向上を図り、町民総力を挙げて活力あるまちづくりを目指しています。

健康に重点を置いた政策では、健康・福祉の基本方針を「健やかに生き生きと暮らせるまちづくり」と定め、生活習慣病の疾病へのリスクに気づき、自身の生活習慣を見直し、改善に取り組むことができるよう健康増進事業を推進するとともに、地域での医療ニーズに応えるための医療体制の堅持及び充実に努めております。

また、高齢者や障害者など誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう地域ケア体制の充実、子供を安心して産み育てることができる環境の整備に取り組んでいます。

本町には、二つの医療機関がありますが、そのうちの一つは、南種子町と隣接する中種子町とで設立した国保直診施設の病院となっています。当院の職員は、地元出身者と移住者が良いチームワークを発揮して働いており、他医療機関とも連携しながら、緊急時対応や日曜日・祝日の在宅当番医など、町民に寄り添った医療体

制が整備されています。

現在、全国的に少子高齢化が進んでいますが、種子島の高齢者はとても元気で、実年齢よりも10歳ほど若く見える方もたくさんいます。そのような高齢者に充実した老後を送っていただけるよう、行政、島内各施設と協力しながら、地域医療体制を構築しています。そして、島の将来を担う子供たちの医療にも力を入れており、病児・病後児保育を院内で行い、保護者の子育てと就労の両立を支援しています。

これからも、町民の健康と福祉の向上を第一に様々な取り組みを進めていきたいと考えています。

**―力を入れておられる取り組みや、特色のある取り組みについてお聞かせください**

本町の特定健診受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度には35％台まで落ち込みました。令和4年度は、コロナ禍の受診控えも一定程度回復し48％台の受診率となりました。

受診控えによる生活習慣病の重症化を防ぐため、令和4年度に鹿児島県国保連合会並びに株式会社キャンサースキャンと「特定健診受診率向上対策事業」に係る委託契約を締結し、特定健診データを分析し、受診勧奨すべき対象者に対して、健康意識等による個別の特性に合わせた通知の送付を行うなど、対象者の行動変容を促しています。また、集団健診の健診日を増やすなど未受診者が健診しやすい体制づくりにも努めています。

近年、増加傾向にある大腸がんについては、罹患率、死亡率ともに高い傾向にあることから、検診料の無料化、特定健診との同日開催を実施し、検診受診率の向上に努めながら、がんの早期発見・早期治療に繋げる取り組みを行っています。

また、特定健診受診者の結果を見ると、32％の方が重症化予防の対象者となっていますが、このうち10％の方が治療を受けていないということが分かりました。特に、高血圧や高血糖の方が治療に繋がっていないことから、電話や手紙・訪問による受診勧奨を行い、医療機関の受診に繋げるとともに、保健指導を実施し、様々な働きかけやアドバイスなど継続的な支援に努めています。

今後も医療機関等と連携しながら、特定健診受診率・特定保健指導実施率ともに60％を目指し、このような取組が将来的な医療費抑制につながることを期待しています。

また、町民の健康づくりの一環として、町が運営している健康施設「河内温泉センター」の利用促進も行っております。この施設は、刺激が少ない単純温泉で、高齢者でも安心して入浴できるほか、病後回復期や外傷後の療養などにも良いと言われています。また、温泉プールでの運動は、体への負荷が少ないながらも全身への効果が高い運動ですので、足腰の弱い方でも継続的に続けられる施設として、多くの方に利用されています。平成27年度から地域支援事業を活用して、高齢者の健康づくりやボランティア等の社会参加に対してポイント付与を行い、温泉センター利用券と交換するなど、高齢者の健康づくり活動を推進しています。

その他の施策として、令和3年12月に有限会社かごしま有機生産組合との間に、「『有機農業』を軸とした地域活性化に関する包括連携協定」を締結し、有機農業の普及により、町内での地元有機農産物を学校給食や病院、福祉施設でも活用できる環境を整備するとともに、食育活動や住民の健康意識向上啓発活動など、食を通した健康づくりにも取り組んでいます。

ロケット打上げ

特定健診の様子

河内温泉センター

## 簡単なことの継続が大事

**―町長ご自身の健康について、普段から心がけていらっしゃることがありましたらお聞かせください**

役場内でも多くの職員が
ラジオ体操を行う

心がけていることの一つは、ラジオ体操です。本町では町民の皆さんからの要望があり、決まった時間に防災無線でラジオ体操の放送を行っています。農作業中の方、在宅の方、それぞれの職場でも一斉に体操を行うことができ、町民の方にも好評です。私は運動不足から筋肉に炎症が起こり、腕が上がらなくなってしまった時期がありましたが、ラジオ体操を日課としてからすっかり良くなりました。真剣に行うことで、結構な全身運動にもなります。簡単なことを継続して行うことが非常にいいと実感しています。

もう一つは、野菜を多く摂ることです。毎朝、コップ一杯のトマトジュースは欠かしません。また、食卓にたくさんの野菜を家族が用意してくれます。そのおかげで、健康を保てているので感謝しています。

**―最後に何か南種子町のPRがございましたらお聞かせください**

本町は、豊かな自然と輝かしい歴史、そして最先端科学が共存する魅力あふれる町です。1943年にポルトガル人と西洋文明が生んだ「鉄砲」を乗せた船が前之浜に漂着すると、いち早く西洋の技術を吸収して国産化に成功し、新たな異国の技術と文化を日本にもたらしています。

また、種子島宇宙センターは「世界で最も美しいロケット発射場」と言われており、打ち上げ成功率は世界最高水準です。そんな施設が、私たちの身近に存在しているということに誇りを感じています。

四方を海に囲まれている種子島では、いたるところにサーフスポットが点在し、1年を通してビギナーからエキスパートまで、誰もが楽しめるサーフアイランドとして人気があり、近年では、プロサーフィンツアーの開催地に選ばれるなど、サーフィンの聖地としても知られています。観光はもちろん、移住者も増加しており、青い海や夜空を彩る満天の星など、ゆったりした心地よい風景であふれています。

人口減少対策として、平成25年度から空き家バンク制度を設け、定住支援を推進し、活用されていない空き家の有効利用にも取り組んでおり、田舎暮らし・農林漁業の体験プログラム、移住のための視察・準備の際に利用できる多目的交流施設もあります。そのほか、地元の方々をはじめ、U・Iターン者などの住宅確保対策が急務となっていることから、官民連携による住宅整備計画をたて、令和5年度中に町内7地区に約90戸の住宅整備をすることにしています。特に、宇宙留学制度による家族留学希望者が毎年増えており、そのまま定住する家族が増えていることなどから、定住対策の一つの柱となっています。

本町には、今年度で28年を迎える宇宙留学制度があり、「日本一の山村留学の町」を確立し、小規模校の学習活動の活性化や複式学級の解消など、地域の活性化の一翼を担ってきています。今年度は全国から56人の小・中学生を迎えスタートしました。宇宙を身近に感じながら生活し、ウミガメ学習や農業体験、サーフィン教室、宇宙少年団活動など、観光資源をフル活用した「宇宙留学」という学びは、島での様々な体験を通して社会性や豊かな人間性を育み、成長の後押しに繋がっているものと感じています。

観光資源をフル活用した
「宇宙留学」という学び

新たな取り組みとして、令和4年9月に「南種子町ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指しております。本町と出光興産株式会社、種子島石油株式会社において、小規模オンサイトPPAによる庁舎への電力供給と、電気自動車充電の共同実証を本年4月3日に開始しました。今回、給電機能を備えた電気自動車8台を導入し、公用車として使用しながら、災害時には各地区8カ所の避難所に、外部給電器であるパワームーバーを使用し電力供給を行うなど、幅広く脱炭素社会への取り組み・普及啓発に活用していきます。

また、本町の産品普及・販路拡大事業の一環として、店舗数日本一の風呂屋「株式会社極楽湯」とタイアップし、〝南種子町食めぐりフェア〟を11月末日まで全国の5店舗で開催していますので、ご親戚・ご友人など、ぜひ、ご紹介ください。

最後に、宇宙学校プロジェクトやロケット祭り、種子島ロケットコンテスト、種子島宇宙芸術祭など各種催しも予定しております。インギー地鶏や安納芋、地元のイモ焼酎など美味しいものもたくさんございますので、多くの方々に「魅力あふれる町　南種子町」へお越しいただきたいと思っております。